

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第20期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社日本一ソフトウェア
【英訳名】	Nippon Ichi Software, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 北角 浩一
【本店の所在の場所】	岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番
【電話番号】	058 - 371 - 7275（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 世古 哲久
【最寄りの連絡場所】	岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番
【電話番号】	058 - 371 - 7275（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 世古 哲久
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第2四半期連結 累計期間	第20期 第2四半期連結 累計期間	第19期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	1,183,647	1,000,471	2,460,752
経常利益又は経常損失( ) (千円)	208,873	39,515	326,114
四半期(当期)純利益又は四半期純損失( ) (千円)	122,170	89,239	215,989
四半期包括利益又は包括利益(千円)	83,955	126,066	228,137
純資産額(千円)	1,040,784	1,058,784	1,184,966
総資産額(千円)	2,160,955	2,355,969	2,001,659
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )(円)	5,794.84	4,218.99	10,244.29
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額(円)	5,700.34		10,038.83
自己資本比率(%)	48.2	44.9	59.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	237,451	290,784	190,450
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	20,766	83,567	9,713
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	156,166	346,960	6,543
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	374,659	628,822	673,114

回次	第19期 第2四半期連結 会計期間	第20期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	7,773.87	2,783.82

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第20期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速や、依然として残る欧州の政府債務危機等の影響で、第1四半期に見られた景気回復の動きにやや足踏みが見られました。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、当年9月に東京ゲームショウ2012が開催され、総来場者数が過去最多を記録するなど、大きな盛り上がりを見せました。また、同月にWii Uや新型PlayStation 3等のハードウェアに関する発表が行われ、ハードウェア市場の期待が高まりました。

コンシューマゲーム業界では、新ハードウェアであるPlayStation Vita及びニンテンドー3DSの需要が一段落し、ハードウェア市場、ソフトウェア市場ともに販売数が前年同時期と同水準に推移しました。モバイル業界では、スマートフォン（高機能携帯電話）への買い替えが活発に行われており、ソーシャルゲームも大きく注目を集めました。アミューズメント業界は、「安・近・短」志向の薄れが見られ、市場は軟調に推移しました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、パッケージ事業では、20周年記念タイトルを含む計6タイトルを発売したほか、発売を予定しているタイトルの開発等を行いました。また、国内各所で開催されたイベントに参加し、当社ブランド及び当社タイトルの認知度向上に努めました。オンライン事業では、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリの配信を行うとともに、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツの配信等を行ってまいりました。ライセンス事業では、他社とコラボレーションしたソーシャルゲーム及びPC向けオンラインゲームの配信をしてまいりました。その他事業では、『うたのプリンスさまっ All Star』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）の受託開発、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営等を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,000,471千円（前年同期比15.5%減）、営業損失46,217千円（前年同四半期は222,584千円の営業利益）、経常損失39,515千円（前年同四半期は208,873千円の経常利益）、四半期純損失89,239千円（前年同四半期は122,170千円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### （パッケージ事業）

パッケージ事業におきましては、国内外合わせ全6タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『絶対ヒーロー改造計画 PSP the Best』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『洞窟物語3D』（ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『特殊報道部』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）の3タイトルを発売いたしました。また、当社は2013年7月12日に設立20周年を迎えるにあたり、『神様と運命革命のパラドクス』（PlayStation 3専用ゲームソフト）をはじめとした記念タイトルの発売を予定しており、その開発及びプロモーション活動等を行いました。

海外市場では、『Disgaea3: Absence of Detention』（邦題：『魔界戦記ディスガイア3 Return』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Atelier Meruru: The Apprentice of Arland』（邦題：『メルルのアトリエ～アーランドの錬金術師3～』、PlayStation 3専用ゲームソフト）、『Legasista』（邦題：『迷宮塔路レガシスタ』、PlayStation 3専用ゲームソフト）の3タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売につきましては、ラバーストラップ等の新規グッズの製作や、当社の通信販売サイトにおけるキャンペーンの展開を行い、既存顧客の満足度向上に努めました。また、新規顧客の獲得に向けて「最強Vジャンプフェスタ2012」、「秋葉原電気外祭り 2012 SUMMER in 新宿」をはじめとした国内各所で行われたイベントに出展し、新規グッズの先行販売等を行いました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高738,257千円、営業損失79,382千円となりました。

#### （オンライン事業）

オンライン事業におきましては、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリ『無限魔界ディスガイア』の配信、PlayStation Networkによるダウンロードコンテンツの配信をしてまいりました。また、GREE向けソーシャ

ルゲーム『ディスガイア魔界コレクション』の配信を新たに開始いたしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高171,839千円、営業利益117,598千円となりました。

#### (ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として製作したGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ピクリマン』の配信をしてまいりました。また、株式会社ガマニアデジタルエンターテインメントとの共同事業としてPC向けオンラインゲーム『Webファントム・ブレイブ』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高41,829千円、営業利益34,503千円となりました。

#### (その他事業)

その他事業におきましては、株式会社プロコリーから発売が予定されております『うたのプリンスさまっ All Star』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)、『神々の悪戯(あそび)』(PlayStation Portable専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、同社と共同で製作したカードゲーム『Z/X(ゼクス)』の好調を受け、トレーディングカードゲームや当社のグッズを扱う「プリニークラブ」の売上も堅調に推移いたしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高48,544千円、営業利益587千円となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,355,969千円となり、前連結会計年度末に比べ354,310千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末に比べ44,292千円の減少)、商品及び製品の増加(前連結会計年度末に比べ、40,142千円の増加)、仕掛品の増加(前連結会計年度末に比べ、263,244千円の増加)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ23,382千円の増加)等によるものであります。

#### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,297,185千円となり、前連結会計年度末に比べ480,492千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加(前連結会計年度末に比べ30,871千円の増加)、短期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ320,000千円の増加)、未払金の増加(前連結会計年度末に比べ64,608千円の増加)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ21,132千円の増加)等によるものであります。

#### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,058,784千円となり、前連結会計年度末に比べ126,182千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、四半期純損失89,239千円による減少等によるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は628,822千円となり、前連結会計年度末に比べ44,292千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は290,784千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失39,947千円、たな卸資産の増加額305,172千円、法人税等の支払額51,428千円等があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は83,567千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出100,118千円、貸付による支出40,000千円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は346,960千円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額320,000千円、長期借入金による収入48,000千円等によるものであります。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000
計	68,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	21,463	21,463	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は採用していません。
計	21,463	21,463	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	21,463	-	245,602	-	235,602

## ( 6 ) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社ローゼンクイーン商会	岐阜県各務原市新鷺沼台3丁目2番地	7,867	36.65
北角 浩一	岐阜県各務原市	5,000	23.29
加藤 修	愛知県名古屋市南区	1,262	5.87
岐阜信用金庫	岐阜県岐阜市神田町6-11	500	2.32
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地	450	2.09
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C (常任代理人 香港上海銀行東京支 店)	LEVEL 13,1 QUEEN'S ROADCENTRAL,HONG KONG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	285	1.32
新川 宗平	岐阜県岐阜市	250	1.16
東濃信用金庫	岐阜県多治見市本町2丁目5番地-1	200	0.93
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川4丁目12-3	128	0.59
北角 賀津子	岐阜県各務原市	120	0.55
計		16,062	74.84

(注) 上記のほか、自己株式が290株あります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 290		
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,173	21,173	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式			
発行済株式総数	21,463		
総株主の議決権		21,173	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社 日本一ソフトウェア	岐阜県各務原市蘇原月丘 町3丁目17番	290		290	1.35
計		290		290	1.35

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	673,114	628,822
受取手形及び売掛金	231,808	234,001
商品及び製品	59,772	99,915
仕掛品	180,007	443,252
繰延税金資産	30,163	27,936
その他	40,746	97,878
貸倒引当金	850	1,700
流動資産合計	1,214,763	1,530,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	351,614	342,620
機械装置及び運搬具(純額)	7,372	5,908
土地	172,746	172,746
建設仮勘定	-	6,750
その他(純額)	38,943	39,502
有形固定資産合計	570,676	567,526
無形固定資産		
11,892		13,724
投資その他の資産		
投資有価証券	177,768	201,151
その他	26,558	43,460
投資その他の資産合計	204,327	244,611
固定資産合計	786,896	825,863
資産合計	2,001,659	2,355,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,312	105,183
短期借入金	329,600	649,600
1年内返済予定の長期借入金	37,507	46,872
未払金	72,468	137,076
未払法人税等	25,529	12,271
賞与引当金	17,492	29,467
売上値引引当金	55,876	58,943
その他	39,791	77,383
流動負債合計	652,577	1,116,797
固定負債		
長期借入金	145,742	166,874
退職給付引当金	10,375	10,278
その他	7,997	3,235
固定負債合計	164,115	180,388
負債合計	816,692	1,297,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	244,062	245,602
資本剰余金	234,062	235,602
利益剰余金	805,589	712,531
自己株式	16,870	16,870
株主資本合計	1,266,843	1,176,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,644	2,833
為替換算調整勘定	89,521	115,870
その他の包括利益累計額合計	81,877	118,703
少数株主持分	-	621
純資産合計	1,184,966	1,058,784
負債純資産合計	2,001,659	2,355,969

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	1,183,647	1,000,471
売上原価	539,499	540,467
売上総利益	644,148	460,003
販売費及び一般管理費	421,564	506,221
営業利益又は営業損失 ( )	222,584	46,217
営業外収益		
受取利息	2,142	1,019
受取配当金	727	1,898
投資事業組合運用益	-	11,694
その他	1,286	1,259
営業外収益合計	4,156	15,871
営業外費用		
支払利息	3,233	2,973
為替差損	12,275	6,158
その他	2,357	38
営業外費用合計	17,866	9,169
経常利益又は経常損失 ( )	208,873	39,515
特別利益		
固定資産売却益	4	-
投資有価証券売却益	-	90
子会社株式売却益	-	3,378
特別利益合計	4	3,468
特別損失		
投資有価証券評価損	15,946	3,900
特別損失合計	15,946	3,900
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ( )	192,932	39,947
法人税等	70,761	49,292
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ( )	122,170	89,239
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	122,170	89,239

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	122,170	89,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,354	10,477
為替換算調整勘定	29,860	26,348
その他の包括利益合計	38,215	36,826
四半期包括利益	83,955	126,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,955	126,066
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	192,932	39,947
減価償却費	21,512	22,810
貸倒引当金の増減額( は減少)	-	850
賞与引当金の増減額( は減少)	11,473	12,176
売上値引引当金の増減額( は減少)	9,287	6,333
退職給付引当金の増減額( は減少)	779	96
受取利息及び受取配当金	2,870	2,917
支払利息	3,233	2,973
投資事業組合運用損益( は益)	-	11,694
為替差損益( は益)	4,312	4,277
有形固定資産売却損益( は益)	4	-
投資有価証券評価損益( は益)	15,946	3,900
投資有価証券売却損益( は益)	-	90
子会社株式売却損益( は益)	-	3,378
売上債権の増減額( は増加)	398,801	5,823
たな卸資産の増減額( は増加)	132,001	305,172
仕入債務の増減額( は減少)	71,330	34,361
その他	39,544	42,671
小計	242,415	238,767
利息及び配当金の受取額	2,247	2,563
利息の支払額	3,303	3,152
法人税等の支払額又は還付額( は支払)	6,019	51,428
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,451	290,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	3,331	9,728
有形固定資産の売却による収入	4	-
無形固定資産の取得による支出	1,260	5,351
投資有価証券の取得による支出	30,160	100,118
投資有価証券の売却による収入	15,162	41,837
貸付けによる支出	-	40,000
貸付金の回収による収入	-	3,293
子会社株式の売却による収入	-	4,000
投資事業組合からの分配による収入	-	22,500
その他	1,180	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,766	83,567

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	180,000	320,000
長期借入れによる収入	-	48,000
長期借入金の返済による支出	20,004	17,503
リース債務の返済による支出	-	2,399
株式の発行による収入	385	3,080
配当金の支払額	4,214	4,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	156,166	346,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,540	16,899
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	112,591	44,292
現金及び現金同等物の期首残高	487,251	673,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	374,659	628,822

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、海外連結子会社に関して、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当	127,917千円	160,282千円
役員報酬	49,512	64,704
賞与引当金繰入額	11,374	12,013
退職給付費用	1,240	1,267
広告宣伝費	74,307	75,228

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	374,659千円	628,822千円
現金及び現金同等物	374,659	628,822

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	4,214	200	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	4,217	200	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	901,295	130,390	79,156	72,805	1,183,647	-	1,183,647
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	901,295	130,390	79,156	72,805	1,183,647	-	1,183,647
セグメント利益又はセグメント損 失( )	144,743	103,249	75,056	11,702	334,751	(112,167)	222,584

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額112,167千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	738,257	171,839	41,829	48,544	1,000,471	-	1,000,471
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	738,257	171,839	41,829	48,544	1,000,471	-	1,000,471
セグメント利益又はセグメント損 失( )	79,382	117,598	34,503	587	73,305	(119,523)	46,217

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額119,523千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )	5,794円84銭	4,218円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	122,170	89,239
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	122,170	89,239
普通株式の期中平均株式数(株)	21,083	21,152
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	5,700円34銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	349	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社日本一ソフトウェア  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山田 順 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 桑原 雅行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社日本一ソフトウェアの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社日本一ソフトウェア及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。